



鳥取県看護協会だより

こすもす

第181号

2022年10月発行

会員数 4,327名

保健師 104名

助産師 213名

看護師 3,963名

准看護師 47名

(令和4年10月6日現在)

公益社団法人 鳥取県看護協会

〒680-0901 鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail: kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<http://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>



ホームページ新着に
「こすもす181号」を
11月末掲載します！

令和4年度
テーマ

コロナ後をみすえて飛躍する看護



鳥取県看護協会 訪問看護ステーション・訪問看護支援センター 職員の皆さん

～あとすこし、あと一息 ともに力を合わせ 未来の看護に向かって～

CONTENTS

地域包括ケアシステム推進フォーラム 開催報告 P 2
新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み/友納理緒参議院議員来館 ... P 3
認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者への
アンケート調査結果報告 P 4～5
看護職員実習指導者養成講習会を受講して/
各地区活動委員会交流会開催について P 6

鳥取県立総合療育センター施設紹介/プラチナナース P 7
がんばる！育ナース/推しメン/専門・認定看護師 P 8
ナースセンターからのお知らせ/理事会報告 P 9
2023年度看護協会の会員継続・入会の手続きについて/
新刊図書/編集後記 P 10

令和4年度 地域包括ケアシステム推進フォーラム

開催報告

—コロナ禍から考えるこれからの医療・介護の連携—

開催日時 令和4年7月31日(日) 13:00~16:00
開催場所 ハワイアロハホール(メイン会場)/鳥取県看護研修センター(サブ会場)/Zoom
参加人数 146名(講師・シンポジスト・委員・協会役職員含む)
対象 医療福祉関係者 看護学生 一般
目的 新型コロナウイルス感染症への対応によって見えてきた医療・介護の連携の課題について共有し今後の地域包括ケアシステムを考える機会とする



特別講演

「コロナ禍から考えるこれからの医療・介護の連携」

講師：NPO法人看護職キャリアサポートフリージア・ナースの会 会長 大島 敏子氏

シンポジウム

テーマ 「新型コロナウイルス感染症への対応によって見えてきた医療・介護の連携の課題と今後のあり方」

鳥取県、鳥取県看護協会での取り組み

- | | | | |
|--------------------|----------------|------|---------|
| | 公益社団法人鳥取県看護協会 | 常任理事 | 長谷川 ゆかり |
| 1. 保健所の立場から | 倉吉保健所健康支援総務課 | 課長補佐 | 岡垣 亜矢子氏 |
| 2. 病院の立場から | 鳥取県立厚生病院 | 看護局長 | 石原 幸恵氏 |
| 3. 介護施設の立場から | 介護老人福祉施設百寿苑 | 施設長 | 入江 祐子氏 |
| 4. 訪問看護ステーションの立場から | 訪問看護ステーションひまわり | 管理者 | 福田 紗緒里氏 |



岡垣 亜矢子



石原 幸恵



入江 祐子



福田 紗緒里

感想

(アンケートより一部抜粋)

- コロナ禍での医療・看護、介護、地域のそれぞれの現場の状況や問題を確認でき、今後連携や課題について考える良い機会となりました。
- 県内の包括ケアシステムにつきましては他職種との連携や団塊の世代の力で一人一人の生きがい为目标とされている取り組みに多様性を尊重する意味で感銘を受けました。
- コロナで大変な中、それでも出来ることはあり、適切な看護を提供出来るよう日々頑張っていきたいと感じました。
- いろいろな現場の方の意見をお聞きすることができました。その中で前を向いてすすむという言葉に力ができました。

参加学生より

- 今回のフォーラムに参加し、コロナ禍による医療の課題について考えることができました。私は助産学生であり、周産期のことを学んでいますが、介護についても改めて考える良い機会となりました。
現在の日本では高齢社会が進み、高齢者の介護や独居などが病院からの退院を困難としています。そのような中、コロナウイルスにより介護者が感染してしまうことや高齢者自身が感染してしまうこと、高齢者施設でクラスターが発生し施設に入所できないなど、従来でも課題がたくさんある中で、コロナ禍により、さらに課題が生じている現状を理解することができました。高齢者を支える家族や従事者がコロナウイルス陽性となった場合、どのように連携するのが重要となると感じました。感染が拡大しているため、誰がなってもおかしくない状況です。そのため、常に先を見越した対策を医療従事者や介護者を中心に、迅速に対応できるように準備しておくことが必要だと思いました。病院と地域をつなぐことは、医療すべての分野において重要であり、看護職はその架け橋となっているとこのフォーラムをとおして学ぶことができました。
- 患者一人に対して、様々な医療従事者が関わり、その中で医療従事者間での連携はとても重要になってくると感じました。患者の目標にそってそれぞれの視点から役割を果たしていかなければならないが、患者さんの状況把握ができていないと、どんなに力を尽くしても医療者とのずれが生じる可能性があります。そのため、情報共有や連携を医療者間で行うことで患者の退院後の生活や転院先の選択などその人に必要な医療を適切に選択し患者さんの入退院支援を積極的に行うことで、質の高い医療を提供できるのではないかと感じました。

令和2年度より3年計画で開催しました「地域包括ケアシステム推進フォーラム」は今年が最終年度となりました。地域包括ケアのすきまとすきまを埋める取り組みを考えることを目的に、令和2年度は「医療的ケア児」令和3年度は、「看取り」そして、今年度は、「コロナ禍での連携」をテーマに参加の皆様と一緒に考える会としました。どのテーマをとりましてもすきまはあり課題もたくさん見えてきました。

このフォーラムにご参加いただきました皆様にとりまして、今後の医療・介護の連携について考える機会となり有意義なものとなりましたことを願います。

鳥取県看護協会としまして、本フォーラムで見えてきた課題の解決に向けて、引き続き皆さまと共に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症に関する協会の取り組み

新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業実施について

日本看護協会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により不足している新型コロナウイルス感染症に対応する看護職員等の人材を確保し、医療提供体制を維持するための支援を目的とした「広域人材調整事業」「新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業」「新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業」を、厚生労働省から受託しました。

これを受け、鳥取県看護協会（鳥取県ナースセンター）は上記の3事業を実施しています。

今回は、6月から8月にかけて東部・中部・西部において実施した「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等を育成するため潜在看護職研修事業」を報告します。

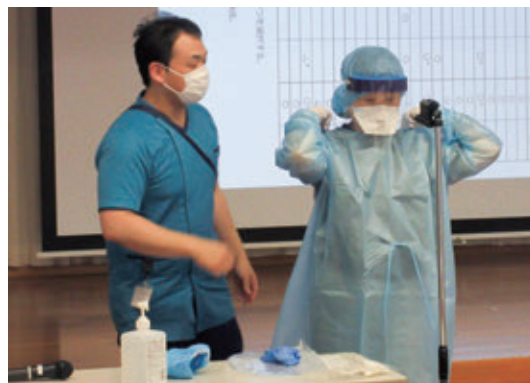
	西部	東部	中部
日程	令和4年6月24日（金）	令和4年7月29日（金）	令和4年8月31日（水）
会場	鳥取大学医学部附属病院 シミュレーションセンター	鳥取県看護研修センター	鳥取県立倉吉未来中心
講義	1 鳥取県の新型コロナウイルス感染の最新情報（新型コロナウイルス感染症と医療） 講師：鳥取大学医学部附属病院 医学部医学科 感染制御学講座ウィルス学分野 教授 景山 誠二		
講義・演習	2 新型コロナウイルス感染症患者の感染対策（知識・防護具の着脱） 講師：鳥取大学医学部附属病院 感染管理認定看護師 中村 広大 講師：鳥取県立中央病院 感染管理認定看護師 朽本 浩紀 講師：鳥取県立厚生病院 感染管理認定看護師 福井 昭裕		
演習	3 臨時の医療施設勤務の潜在看護師向けの静脈確保について（演習） 講師：鳥取大学医学部附属病院 ティーチングナース 高田 理沙子／保野 大地 須田 智子 講師：鳥取県立中央病院 師長 山本 有加 副師長 小谷 奈緒 山本 めぐみ 講師：鳥取県立厚生病院 副師長 濱本 優子		
参加者数	13名	12名	6名

受講者感想

- コロナ感染症に対する知識が深まり、ワクチンの大切さが理解できた。
- 最新のコロナの現状やガウンの着方等、実践も含めながら多くのことを学ぶことができました。
- 感染予防のための考え方、実際の防護服の着用方法について「リスクをゼロに近づけるためには」ということを学んだ。



景山教授による講義



朽本感染管理認定看護師による演習

友納 理緒

参議院議員当選後、協会に初来館されました！

9月21日に友納理緒参議院議員が鳥取県看護協会に来館されました。看護職の処遇改善に現場の声が反映されるよう頑張っていきたいと話されました。



友納理緒議員を囲んで

認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者へのアンケート調査結果報告

鳥取県看護協会では、認定看護管理者教育課程セカンドレベル（以下セカンドレベル）修了者を対象とした調査を2021年8月に実施しました。

当協会では、セカンドレベルを2009年に開講し、隔年開催として継続してきました。

本調査はセカンドレベル修了者の属性や研修受講後の活動内容、活動成果の実態等を明らかにし、セカンドレベル修了者のキャリアアップに繋げることを目的として実施しました。

セカンドレベル修了者157名を対象に調査用紙をお送りし、93名の方より回答をいただきました。取りまとめた結果を、2022年6月に、各施設にお返しするとともにホームページ上でもご紹介しています。

ここに貴重なご意見の一部を紹介します。引き続きホームページもご覧いただければ幸いです。

認定看護管理者教育課程教育運営委員会

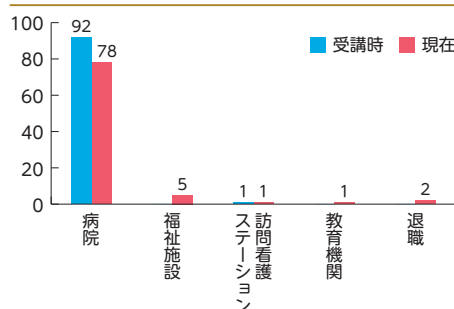
※アンケート配布157名

回収率59.2%

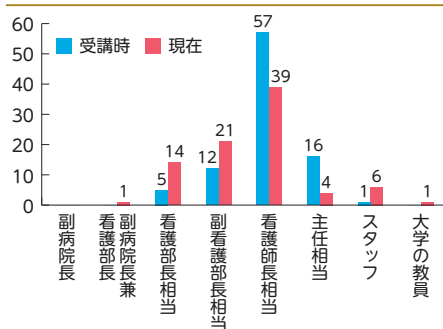
グラフ単位・回答件数

◆印・複数回答

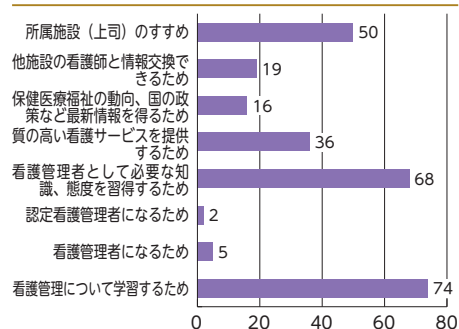
所属施設種別



職位

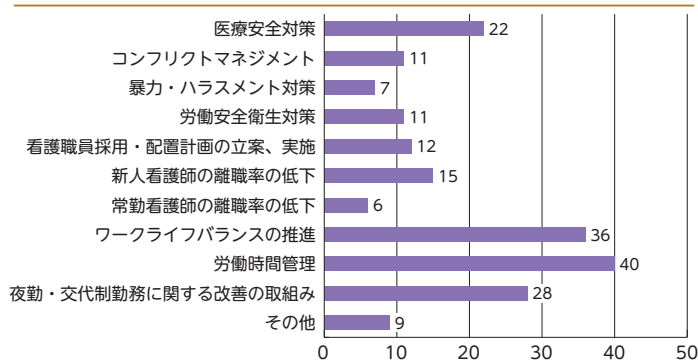


◆ 受講動機

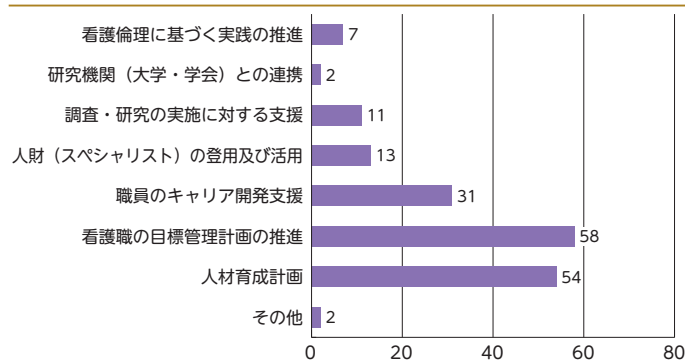


修了後、活動の中で成果を上げたあるいは貢献したもの

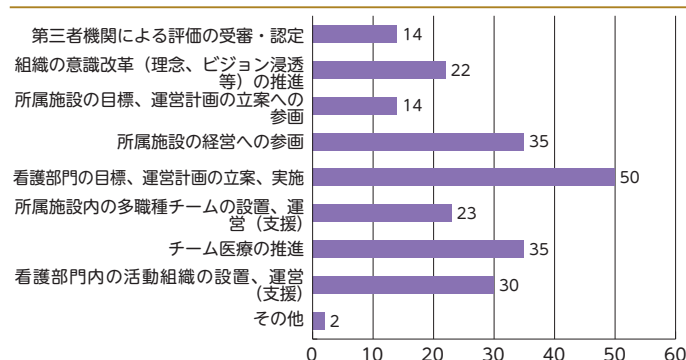
◆ 【労働条件・環境の整備】



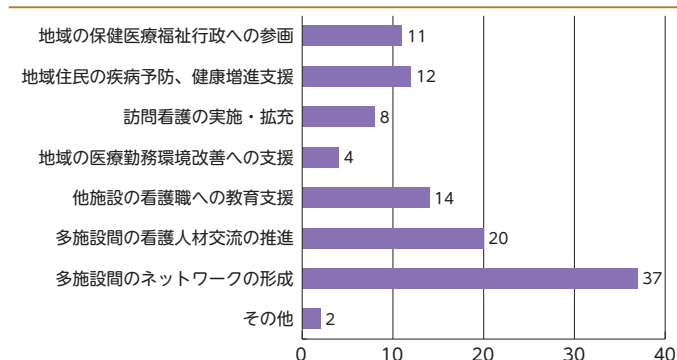
◆ 【看護実践能力の強化とその体制整備】



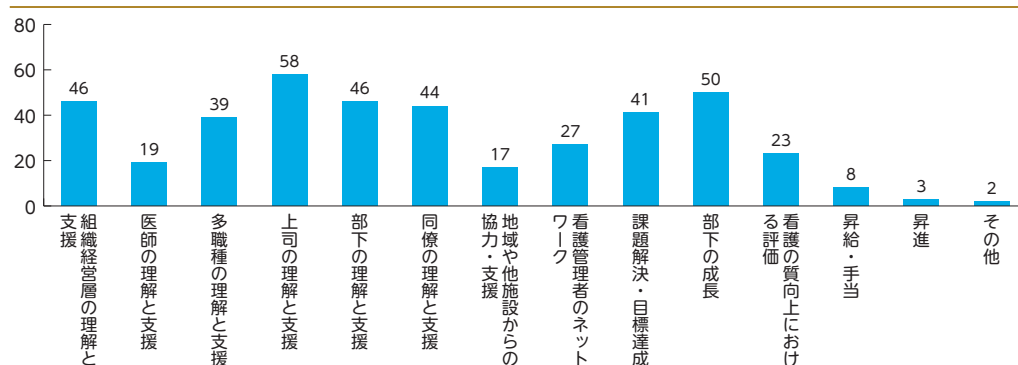
◆ 【所属施設における医療の質向上のための取組み】



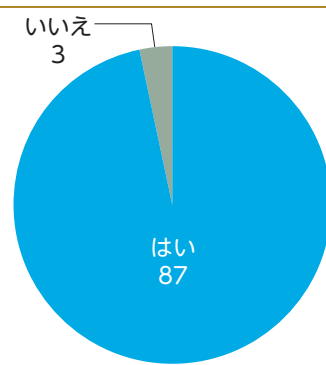
◆ 【地域社会における医療の質向上のための取組み】



◆ 看護管理活動の推進力となっているもの



セカンドレベルを他の看護師にすすめますか



貴重なご意見の一部を紹介します！

受講後、役立ったこと

- 組織の理念と看護部の理念の整合性を図りながら部署の目標を設定すること
- 看護サービス向上のため新たな取り組みを行うこと
- 看護部の目標の明確化、他部門と調整し、病院運営の推進を図ること
- 目標を設定する際に理論を用いて計画立てていくこと
- 組織分析を行い目標設定
- 指標を数値化、可視化して考えること
- 経営の視点、人材活用の視点が養われた
- 自部署だけでなく病院全体、地域も視野に入れて考えることができるようになった
- 目標管理、面接の技術、キャリア開発
- 看護の質評価、データ化することの重要性
- 成果の可視化、情報の整理
- 人材育成、教育体制づくり
- 課題の分析方法、データ活用したエビデンスにもとづくプレゼン

コロナ禍で成果を上げた取り組み

- 感染管理認定看護師を中心とした感染管理の充実、マニュアル実践の整備
- 院内感染対策の強化
- コロナ病棟の立ち上げに各病棟からの応援体制を行った
- 外来及び救急外来における発熱者対応、検体採取、手順作成と周知
- 各担当が協力してマニュアル作成を行い各部署からの応援体制をとって感染病床の夜勤者確保
- トリアージの実施（看護職が関わることで成果が上がった）
- オンライン面会システムの構築
- タブレット使用（導入）しての訪問看護（退院前後）
- 感染管理担当者の業務負担軽減への取り組み
- リモート研修の活用、実施方法のスキル

セカンドレベル受講を他の看護師に進める理由

- 看護管理における知識の習得、理論の活用、経営の視点を学ぶことができる
- 管理上の問題を解決していく思考が成長する
- 課題を達成することで今後の看護管理活動に活きる
- 病院の経営や患者の視点、職員育成のためのスキルが身につく
- 社会、医療情勢を知ることができる
- ものの見方が変わる
- 地域、社会のニーズや施設全体のビジョンを理解、納得したうえで自己の看護管理者としての目標を明確にすることができる

認定看護管理者教育課程についてご意見

- 鳥取県看護協会で「サードレベル」の受講が可能になることを望む
- 仕事を継続しながら学べる環境や受講スタイルを立ち上げてほしい
- 集合研修だけでなくオンラインでも研修できる環境を作してほしい（コロナ禍に限らず）
- 西部から東部へは本当に遠いです。できるだけ講義を西部で開催する機会を増やしてほしい
※同じ協会費を納めていますが東部と西部では負担感に大きな差があると感じる
- 受講後の交流が減っていくので、今回このような調査で他の受講生（修了者）がどのように活躍されているかがわかると、自身の今後の看護管理に役立つ

看護職員実習指導者養成講習会を受講して

受講生の声 智頭病院 黒岩 めぐみ

私たちは、効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術・態度を習得することを目的に各施設から集まりました。看護の現場を離れ、「教育」とは何かと様々な分野で学習する中で学ぶ楽しさがありました。自身の指導場面を振り返り、「伝わらない、育たない」と焦り、教え込むことで「教えた」と納得させていたところがあります。しかし、講習を受け「個々に違うこと」「興味・関心を持たせること」「魅せる看護をすること」が不足していたと気づくことができました。そして、学生の頃「あんな看護師さんになりたい」「看護の仕事って楽しそう」「患者さんの表情素敵だな」と臨地実習で多くの刺激、学び、看護観に触れたことを思い出しました。今の私が看護師として働き続けていられるのは、看護学生の時の多くの学びがあったからです。

この講習に参加し、経験年数や分野・領域の異なるメンバーと家族より多くの時間、話し合い、悩みながら貴重な時間を過ごすことができました。本講習で出会ったメンバーだからこそ、様々な課題や悩み、不安を乗り越え、達成できたと感じます。

看護も社会の影響を受け様々な変革を行っていることにも触れました。目の前のことに必死で、周りの変化を感じ取っていたものの触れずにいました。しかし、様々な変化の中で「看護そのもの」の根底は変わらないように思います。看護学校のカリキュラムが変更になるなど、教える内容や方法が変わっても看護そのものは変わらないと改めて感じました。今回、コロナウイルス第7派が到来し一部ZOOMでの講



開講式：受講生の皆さま

義・演習となりましたが、講習会の体制を整えて頂き学ぶことができました。学習方法も社会に応じて多様化しており、コロナ禍に関係なく学ぶことは出来ると肌で感じる事ができました。少子高齢化、人口減少などの影響を受け、担い手の不足は身近な問題です。人材確保が困難な状況の中で、看護の質が求められると感じました。その中で学生の臨地実習指導に携わることは身の引き締まる思いです。

これから実習指導の場では、上手にいくことばかりではなく、悩むこともあると思います。多くの学びを糧に、一人一人の学生を受け止め、患者の安心安全を第一義とし仲介的立場で指導していきたいです。そして、学生と共に刺激し合い、感じ合いながらお互いの考えや思いをすり合わせ学びを深めていきたいです。私のように「看護って楽しそう」と思える臨地実習となるよう支援できる存在でありたいです。

最後になりましたが諸先生方、鳥取県看護協会の皆様、そしてこの講習会に快く送り出して下さった各職場の皆様深く感謝致します。

各地区活動委員会 交流会 開催について

たくさんのお申込みお待ちしております。

東部

「住職さんのお話&ゆったりヨガで心も身体もリラックス」

対象 東部地区施設に就業されている新卒1年目から3年目の看護職

日時 12月14日（水）午後1:00～3:00

会場 鳥取県看護研修センター

● 講話・ゆったりヨガ・交流会
親睦を深める交流会に参加して、心も身体もリフレッシュしましょう！

中部

「5年後が楽しみになるセルフ整体&顔ヨガ」
～身体も心も顔もリラックス～

対象 中部地区施設に就業されている看護職

日時 11月26日（土）午後2:00～3:30

会場 ワーキングガレージSISU（定員10名）
Zoomライブ配信（定員100名）

● 顔ヨガと自力整体
昨年好評だった顔ヨガに加え自力整体でタオルを使って体を動かし全身リラックス！

西部

「あつまれ!!フレッシュナース」
～届けよう笑顔～

対象 西部地区施設に就業されている新卒1年目と2年目看護職

日時 12月16日（金）午後1:30～4:00

会場 米子コンベンションセンター第7会議室

● 心理士による講習
（アドバイス・心のケア）
新人看護職間のコミュニケーションの場をつくる。ストレスチェック・ゲームなどのレクリエーションなどで交流を図る。

詳細は、各施設に交流会案内チラシと申込書を送付しています（ホームページ新着に掲載）

* 各施設まとめてFAXまたはメールでお申込みください。

申込締切日 10月31日（月）必着

施設紹介

～コロナ後をみすえて
飛躍する看護～

鳥取県立総合療育センター

～今も未来も豊かで楽しい生活をめざそう!～

鳥取県立総合療育センターは、児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設、医療型児童発達支援センターであり、医療法による病院でもあります。また障害者総合支援法に基づく生活介護、短期入所などの福祉サービスも実施しています。

新型コロナウイルス感染症が流行した当初はその脅威が大きく、様々なサービスの中止や制限がありました。入所児の生活にも制限が続いていましたが、現在は工夫しながら外出や様々な季節の行事を行っています。先日も中庭で花火大会を行い、夏の終わりを感じ取っていました。また、感染状況に応じ家族と子どもたちをつなぐ面会を行っています。

令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行され、鳥取県は令和4年6月に「医療的ケア児等支援センター」を開設しました。当センターも後方支援看護師をおき、地域で暮らす医療的ケアが必要な児や家族の支援に取り組んでいます。

令和4年度は7名の新規採用者を迎え、重心福祉協会認定重症心身障害看護師2名を軸にセンター版クリニカルルーターに沿って育成に努めています。

今後も、重症心身障害や様々な障害のある方が安心して暮らせるよう、看護のスペシャリストとして療育に努めていきたいと思います。



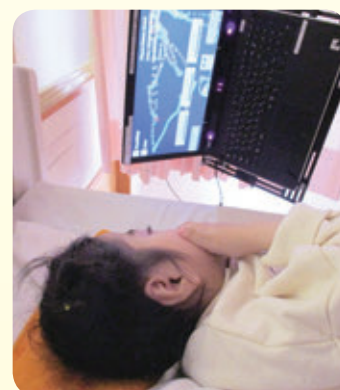
施設の全景



呼吸器チェック ～加湿器 温度、よし!



体験や季節の行事～10月ハロウィン



視線入力～視線の軌跡で変化が見える

Keep Shining 輝き続ける プラチナナース

個人会員 渡部 一恵

鳥取県職員（保健師）として定年まで勤務し、自分らしい生き方・働き方として「開業保健師」として仕事するようになって、5年が経過しました。在職中の自身のがん経験がこれからの人生を真剣に考えるきっかけになり、人生の第2ステージのキャリアデザインを描くことになりました。そんな折に出版社からキャリア育成のコーナーに「私が定年退職後に開業保健師になった理由」ということでの執筆依頼があり、さらに整理することが出来ました。現在、私は「開業保健師」として、在職中のキャリアと経験の中で、自身の強みとノウハウを活かし企業や行政機関等の事業場に出向き、働く世代のメンタルヘルス対策、ハラスメント対策、安全衛生管理活動、人材育成等軸足に教育、相談等を行い、いきいきと働ける安心・安全な職場環境づくりをめざしていくことをミッションにして活動しています。仕事を通して学ぶことも多く、また自身も年をかさねていくことでわかることもあり、働く世代が人生のいろいろな課題と向き合いながら仕事をしていますので、その人がその人らしく働くことが出来ればと思います。

これからも働く世代の人がいきいきと働けるように支援の本質である「仏様の指」の考え方を大事にして、産業保健領域の産業保健師として、もうしばらくの間、続けていこうと思っています。





がんばる！ 育ナース



医療法人社団 尾崎病院
看護師 河尻 千晶

看護師になって12年になり、1歳と3歳の子どもが2人います。

妊娠初期には体調を崩し仕事を休むこともありましたが、職場が温かく気負わずにいられた。その後も職場のフォローのおかげで、無理することなく仕事を続け、産休に入ることができました。

仕事に復帰してからは、子どもの迎えはほとんど夫がしてくれています。1歳半になるまでは日勤のみの勤務なので、家に帰った時に家族が迎えてくれるのがとても嬉しく、仕事を頑張ろうという励みになります。子どもの日々の成長を感じられ、楽しく子育てができています。

まだまだ子どもたちが体調を崩したりすることもあり、急に休むことがありますが、職場の理解と多くの人の協力で感謝しています。

通常の業務だけでなく、委員会も任されて毎日慌ただしいですが、充実して仕事をする事ができています。これからも育児と仕事のどちらも楽しみたいと思います。

ちょっと一息

推しメン

医療法人十字会 野島病院
看護師 川本 大介



15年前に祖父が脳梗塞で入院し、面会時に初めて男性の看護師が働いていることを知りました。今より男性看護師が少なかった時に、その職業を選んだことに興味がわき、それがきっかけで転職を決意しました。36歳で就職し地域包括ケア病棟に配属になりましたが、新人時代は病棟内でもかなり異色の存在だったと思います。

初めての異動は急性期病棟で今年4年目になります。急性期病棟では手術や検査・処置など展開が早く、業務に対する戸惑いがありました。まわりのサポートによりあまり不安を感じることなく、現在はプリセプターやチームリーダーを担っています。

一方で独居や身寄りの無い患者が入院された時には地域包括ケア病棟での経験を生かして、早期から退院支援を行っています。今年は、実習指導者研修に参加し学生や新人への関わり方を学びました。

今後は自分自身の経験を活かし、教育にも携わっていきたいです。

専門看護師・認定看護師 は こんな 活動 しています

認知症看護認定看護師

鳥取県立厚生病院

認知症看護認定看護師 有 福 尚子



認知症認定看護師となり3年。その殆どがコロナ禍にあり、私は感染症病棟で勤務しながら認知症看護を実践・指導しています。第7波に入り、これまで以上に認知症の人が感染症病棟に入院されるようになりました。室内隔離を強いられ、防護具を着た医療者に囲まれ、とても不安な療養生活を送らざるを得ない状況下で、いかに安心してその人らしい生活を過ごせるか日々試行錯誤しています。「室内にずっとは苦痛だよね」「こんな格好は怖いよね」と本人の視点に立ち、私達にできることは何かスタッフと一緒に検討してきました。退院の際は、退院できたことを共に喜び合うことができ、チームにとっても自信に繋がりました。

コロナ禍という認知症の人にとっては困難な環境ではありますが、この経験を活かし、療養中でもその人らしく過ごすことができるよう認知症ケアを実践し、スタッフや家族等への指導や支援も続けていきたいと考えています。

2023年度 看護協会の会員継続・入会の手続きについて

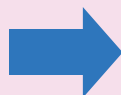
2022年度の会員の方には、9月16日時点の会員データに基づき、
『2023年度会員継続（会費）のお知らせ』を10月から日本看護協会より施設または自宅へ送付します。
※9月16日以降に会費納入された方は12月以降に順次お送りいたします。

『2023年度会員継続（会費）のお知らせ』

記載項目に変更がある方は

【変更例】

- ・印字されている会員情報に変更がある（改名・住所変更等）
- ・引落口座を変更したい
- ・納入方法を変更したい
- ・勤務先を変更したい



会員情報変更届 提出

施設：会員代表者へ（取りまとめて郵送）
個人：郵送

変更届の送付先

〒206-8790
日本郵便株式会社多摩郵便局私書箱21号
公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会
会員登録事務局

記載項目に
変更がない方は



提出不要



※『2023年度継続（会費）のお知らせ』がお手元に届かない方は、下記の問合せ先までご連絡ください。
※退会をご希望の方で口座振替の方は**12月25日まで**に退会届のご提出がない場合、次年度会費が引き落とされますのでご注意ください。

継続会員で口座振替の方の引き落とし日は**2023年1月27日(金)**です

会員専用ページ **キャリアナース**の
登録はお済みですか？
キャリアナースに登録すると…
こんなに便利!!

- ★会員基本情報の確認・変更ができる！
（改姓や住所変更など）
- ★研修受講履歴が確認・受講証明書の印刷ができる！
- ★日本看護協会抄録集、認定看護師過程の入試問題、調査研究報告の閲覧ができる！
- ★最新の看護関連図書の文献検索ができる！



2022年度年会費等が未払いの方へ

2022年度年会費のお支払いがお済みでない方はお早めにお支払いください。
なお、コンビニ払込票を紛失された方や会費等の問い合わせがありましたら、
鳥取県看護協会 会員管理担当までご連絡ください（0857-29-8100）

会員専用ページ

キャリアナース



問合せ先

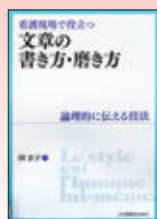
〒680-0901 鳥取市江津318-1
公益社団法人鳥取県看護協会 総務部 会員担当
TEL：0857-29-8100 FAX：0857-29-8102
E-mail：kango@tottori-kangokyokai.or.jp（平日9:00～17:00）

新刊図書



#生理の貧困

著 福井みのり・ヒカオ・
吉沢豊予子・田中東子・
田中ひかる・河野真太郎
日本看護協会出版会 発行



看護現場で役立つ 文章の書き方・磨き方

著 因 京子
日本看護協会出版会 発行



わが子の通う学校で運動会がありました。コロナ禍になってからは1日ではなく、半日開催です。子どもの成長を感じられる機会なので残念な気もしますが、弁当作りをしなくてよいのは助かります。でもやっぱり1日運動会をみたいです。（広報委員 山本真）